

研究課題名	小児緑内障臨床研究のための国際的データベースの作成		
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 木内 良明		
研究期間	2022年4月17日(倫理委員会承認後) 2022年 1月		
<p>対象者</p> <p>平成 15 (2003) 年 4 月から平成 31 (2019) 年 3 月までの間に、広島大学病院眼科で小児緑内障と診断された患者さんのうち E 疫-944「小児緑内障臨床研究のための国際的データベースの作成」に参加された患者さん。</p> <p>(研究全体の対象者は令和 4 (2022) 年 4 月までの小児緑内障と診断された患者さんです)</p> <p>意義・目的</p> <p>小児緑内障は頻度の低い疾患とされていますが、疫学調査によってその発生率を検討した報告はあまりありません。今回、世界中の多施設から情報収集を行い、国際的なデータベースを作成することによって、小児緑内障の有病率や特徴について明らかにするためこの研究を計画しました。</p> <p>方法</p> <p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は診断時年齢、診断時の麻酔法、出生時体重、未熟児網膜症(有無、処置の種類) 性別、視力、眼圧、視神経径、屈折、色覚検査/経 肩式 遠視、近視の有無、ARTE</p>			

Tel : 082-257-5247

広島大学病院眼科 教授 木内 良明 (研究責任者)  
医員 徳毛 花菜 (担当者)

研究機関：広島大学